

新宮山彦ぐるーぷ第1901回
電源開発(株)から行仙宿へ定期荷上げ寄贈品受領と
モノレール運転操作・取扱方法説明及び玉置神社参拝

◇実施日：平成28年10月13日(木) 曇り時々薄日、14℃
◇参加者：電源開発(株)橋本流通事業所・高橋英治、手塚健一(初)
久保義之、神原龍太郎。 4名
山上皓一郎、川島 功、沖崎吉信。 計7名。

先月、電源開発(株)橋本流通事業所を敬訪問した折に、行仙宿登山口から浦向道分岐間にモノレールを設置したので、鉄塔巡視や行仙宿に定期寄贈品荷上げの際に、モノレールを使用して頂いても結構ですと伝えていた。

本日10時頃に、行仙宿に定期寄贈品「缶パン2箱、飲料水(2L×9本)2箱、ガスカートリッジ8セット(3本入り)」を荷上げに來て下さる事になり、モノレール運転操作・取扱方法を教えることになる。

新宮を発ち、小松への分岐を過ぎた辺りで、沖崎氏の携帯電話が何度も鳴り、北山村「道の駅」で返信。沖崎氏は新翔高校同窓会会長で百周年記念祝賀会の打合せが本日開催されるが、事前打合せをしたとの電話で、15時半迄に帰宅することになる。

しばらくして、橋本流通事業所の4名が、登山口に10時25分に到着。

お互い自己紹介をして、沖崎氏から運転操作手順書に基づき、モノレール実機で運転操作手順及び取扱注意事項を説明する。説明後、寄贈品とザックを積込んだモノレールは、実際に運転して頂いた。(川島・山上が荷物台車に乗りアドバイス)。

その他の方は、沖崎氏と一緒に背負子のみ担ぎ、モノレール駐機場と燃料・軽油、潤滑油、エンジンキー置場に案内して、M機を終点へ登る。



M機前で自己紹介



M機終点でハイポーズ



宿内で昼食

モノレール終点で降ろした寄贈品は、背負子に荷づくりして行仙宿へ、11時20分行仙宿着。モノレール使うと、荷上げの負担が、軽減される事を実感したとの声が聞かれた。

今後、電源開発(株)さんがモノレール使用の際は、事前に事務局へ連絡する事にした。

行仙宿へ先行した山上さんは、行者堂前に幟を立てて下さる。

「先入れ先出し」をするため、箱に寄贈年月日を記入して頂き、保管場所の管理棟内を案内した。

この管理棟は世界遺産登録審査前に建築する必要に迫られた際に、鉄塔周辺工事が終了し、ヘリで機材を降ろす事が判り、便乗荷上げをお願いしたところ、快諾を得てヘリの荷上げにより、お陰様で審査前に建てられたいきさつ等を説明。

お湯を沸かし、もはらクリニックから頂いたインスタント味噌汁を各自いれて頂き昼食。昼食後コーヒを召し上がって頂く。

沖崎氏の帰宅時間の関係から、歓談もそこに、早目に昼食を終える。

電源開発(株)さん達は、笠捨山の撒き道(旧通信道・鉄塔巡視路)が5月連休中に、提供して頂いた「くい丸」で修復した鉄塔巡視路を確認に行かれる事になり記念撮影後、我々は先に下山した。



行者堂前で記念撮影



行者堂内御参り



玉置神社参拝

下山後、玉置神社秋の例祭が、10月24日催行の招待状が世話人代表・玉岡憲明氏宛てに郵送されているので、今後、世話人代表交代もあり事務局(新宮市・沖崎吉信宛)に郵送して頂く事と例祭には欠席になる事から、お供え(清酒2升)を納めに参拝した。参拝に車祈禱地まで車を持ち入れたが、参拝者の車で満杯で、中間駐車場までバックで戻り、玉置川経由で15時15分に帰新した。

行動タイム

新宮 8:05→9:40 行仙宿登山口(電源開発株)10:25 着)10:40→10:50M機終点 11:00→11:20 行仙宿(昼食)12:15→12:40 行仙宿登山口 12:45→13:50 玉置神社 14:15→15:15 新宮。

(記 川島)